

開催日  
令和4年5月3日(火・祝)  
14時開演(13時15分開場)

会場

川崎市麻生市民館大ホール  
(小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分)

# 人間国宝の競演

## 友枝昭世と山本東次郎の至芸

解説  
馬場あき子

能  
隅田川 友枝 昭世

狂言  
麻生 山本東次郎

アフタートーク  
馬場あき子、友枝昭世、山本東次郎



狂言「麻生」山本東次郎 撮影：前島吉裕

能「隅田川」友枝昭世

### アルテリッカしんゆりのコロナ感染防止対策

- 定期的に会場の換気、消毒を行います。
  - スタッフ、出演者の健康管理を徹底しています。
  - 舞台配置・演出などで感染防止のための対策をします。
- お客様へのお願い
- 消毒、検温にご協力ください。
  - 体調に不安のある方は来場をご遠慮ください。
  - 会場内ではマスクを着用し、大声での会話をお避け下さい。
- その他各関係ガイドラインに則り対応しますのでご協力をお願いいたします。



### チケットご購入のご案内

①アルテリッカ会員先行発売 2月27日(日) 10:00~17:00

※アルテリッカしんゆりHP・電話で受付。2月26日(土)までに要会員登録(無料)

②一般発売 2月28日(月) 10:00より

最新の発売情報はアルテリッカしんゆりHPでご確認ください。 <https://www.artericca-shinyuri.com/>



■料金[全席指定] SS席6,000円 S席5,000円 A席4,000円 U25割(S席)2,500円 U25割(A席)2,000円

※U25割:未就学児を除く25歳以下の方。S席・A席エリアのみ選択可。来場時に生年月日のわかる身分証明書提示。

### <インターネット>

アルテリッカ

検索

アルテリッカしんゆり公式ホームページ(24時間対応)  
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

### <電話予約>

アルテリッカしんゆりチケットセンター  
(10:00~17:00/2/28から平日のみ、4/1からは毎日営業)  
TEL.044-955-3100

### <窓口販売> (A、B、C、D / 地図参照)

A 川崎市アートセンター (9:00~19:30/毎月第2月曜を除く)

B 新百合トウェンティワンホール (10:00~17:00)

C 昭和音楽大学南校舎  
(10:00~18:00/12:00~13:00及び3/11、土・日・祝を除く)

D マイタウンチケットセンター(新百合ヶ丘マブラ「写真工房 彩」内)  
(平日9:00~19:00/土・日・祝10:00~19:00 不定休)



主催:公益財団法人川崎市文化財団  
共催:川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2022実行委員会  
川崎市 川崎市教育委員会  
後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会  
NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり  
「映像のまち・かわさき」推進フォーラム



お問合せ ▶ 川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2022実行委員会事務局 TEL.044-952-5024 FAX.044-955-3212

解説 馬場あき子

シテ梅若丸の母 友枝 昭世

能 隅田川

山本 則光  
ワキ 渡守 宝生 欣哉  
ワキツレ 旅人 野口 能弘

大鼓 國川 純  
小鼓 森澤 勇司

笛 栗林 祐輔

後見 中村 邦生  
友枝 雄人

地謡 谷 友矩  
佐藤 寛泰  
佐藤 真也  
佐藤 陽

金子敬一郎  
大村 定  
香川 靖嗣  
長島 茂

休憩(20分)

狂言 麻生

シテ麻生の何某 山本東次郎

アト 頭六 山本 則重  
アト 下六 山本 則秀  
アト 鳥帽子屋 山本 則俊  
大鼓 佃 良太郎  
小鼓 森澤 勇司  
太鼓 澤田 晃良  
笛 栗林 祐輔

アフタートーク 馬場あき子、友枝昭世、山本東次郎

能 隅田川【すみだがわ】

武蔵国隅田川の川岸で渡守が船に乗せる客を待っていると、息子を捜して旅をする一人の女物狂いが現れ、船に乗せてほしいと頼みます。渡守は面白く狂って見せなければ乗せないと言うと、女は、隅田川の渡守ならば「伊勢物語」の渡守のように「日も暮れぬ舟に乘れ」というべきだと返します。また、女は沖の鷗を見つけると在原業平の古歌を思い出し、業平は妻を、自分はわが子を探ねているがその思いは同じだと嘆くので、渡守は女を船に乗せません。

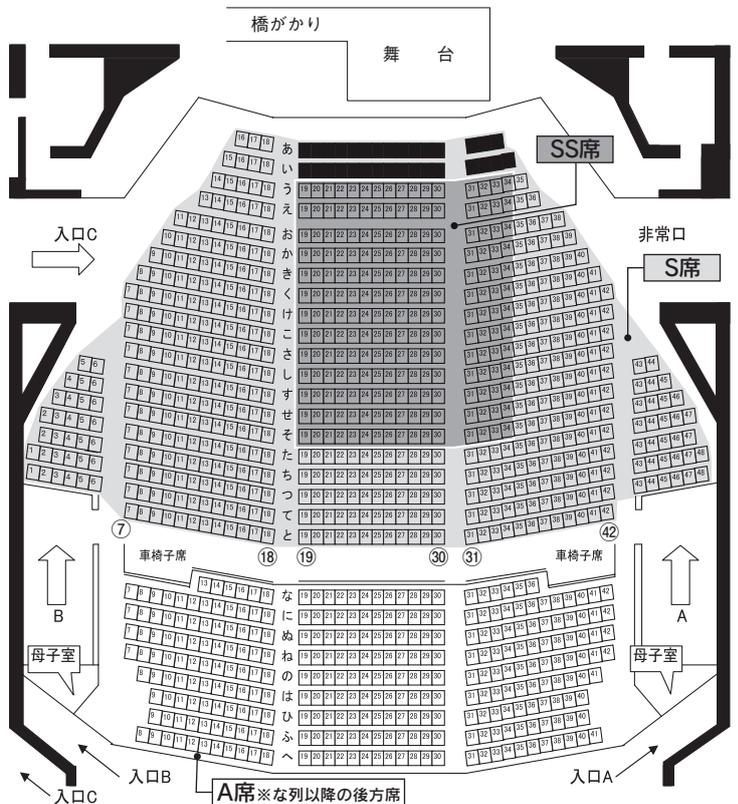
船中では、対岸の柳のもとに人が大勢集まっているのは何事かと旅人が尋ねると、渡守は、ちょうど一年前の三月十五日に人買いに連れられてきた子供が病死したのを人々が回向しているのだと語り、女がその子供の母親であることが判明します。渡守は悲しむ女を子供の墓へと連れて行きます。女が亡きわが子のために念仏を唱えると、息子梅若丸の霊が現れ、見えたり隠れたりしているうちに夜が明けて消えてしまい、あとには草の生えた塚が残るだけでした。

※物狂い：子や恋人との別離で一時的に興奮状態に陥り心が乱れた状態で歌や舞などを見せる芸能者

狂言 麻生【あそび】

都での訴訟がすべて叶い、ようやく故郷の信濃の国に戻れることになって喜びもひとしおの麻生の何某は、明日の元旦が最後ののお勤めです。召使いの頭六は主人のために元旦の正装用の小袖・素袍・上下を整え、習い覚えた烏帽子髪を結いませ、さて、烏帽子屋に新調の烏帽子を取りに行った同じく召使いの下六は、主の館に戻る途中、同じように正月のしめ飾りを付けた家々の中に主の館を見失い途方にくれて…。

川崎市麻生市民館 ホール座席表



詳しくは [川崎市麻生市民館座席表](#)

検索

プロフィール

友枝 昭世 (ともえだ あきよ) ●能楽師 喜多流 シテ方



- 1940年3月24日生まれ。肥後熊本・加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる
- 1946年/能楽シテ方喜多流十五世宗家喜多美氏に師事
- 1978年/第28回芸術選奨文部大臣新人賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1995年/第45回芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1996年/「友枝会」(江戸幕府崩壊後、曾祖父友枝三郎のもと熊本にて発足)を父喜久夫没後継承
- 2000年/春の紫綬褒章受章
- 2003年/日本芸術院賞受賞
- 2004年/伝統文化ボーラ賞大賞受賞
- 2008年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2011年/日本芸術院会員に就任
- 2020年/旭日中綬章受章
- 喜多流宗家預り

山本東次郎 (やまもと とうじろう) ●能楽師 大蔵流 狂言方



- 1937年5月5日生まれ。山本東次郎家四世。三世東次郎の長男。山本会を主宰。
- 1964年/芸術祭奨励賞受賞
- 1992年/芸術選奨文部大臣賞受賞
- 1994年/第16回観世寿夫記念法政大学能楽賞受賞
- 1998年/紫綬褒章受章
- 2001年/エグモンモバイル音楽賞(邦楽部門)受賞
- 2007年/日本芸術院賞受賞
- 2012年/重要無形文化財各個指定(人間国宝)認定
- 2017年/日本芸術院会員に就任
- 一般財団法人杉並能楽堂理事長
- 著書 「狂言のすずめ」、「狂言のことだま」、「山本東次郎家 狂言の面」(玉川大学出版部)、「狂言 山本東次郎」(共著)(新人物往來社)、「中高生のための狂言入門」(共著)(平凡社)

馬場 あき子 (ばば あきこ) ●歌人



日本を代表する歌人、文芸評論家。短歌結社「かりん」主宰。古典や能に対する造詣も深く、喜多美に入門。新作能の制作も行い、「影媛」(国立能楽堂委嘱)は大好評を博した。文化功労者、日本芸術院会員、朝日歌壇選者ほか。「馬場あき子全集」全13巻ほか歌集や著書多数。川崎市在住。

【新型コロナウイルス感染拡大防止のためご協力をお願いします】

- 本公演が感染経路となった可能性が生じた場合には、保健所等関係機関にお客様の情報を開示することがあります。個人情報の取扱いについては、川崎市文化財団で定めた個人情報保護方針に基づき、適切に取り扱うことといたします。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、日時・内容・出演者・販売座席等を変更する可能性があります。

最新の情報は  
川崎市文化財団ホームページでご確認ください。  
<https://www.kbz.or.jp/event/noh/20220503/>

